

競 技 注 意 事 項

1 競技規則

本競技会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会競技注意事項によって実施する。
なお、本競技会は広告規定を適用する。

2 練習について

- (1) 練習については、役員（練習会場係）の指示に従い、原則補助競技場を使用すること。また補助競技場で競技が行われる際は、競技に支障の無い場所を使用すること。なお練習会場には、選手・指導者以外の入場は認めない。
- (2) 白波スタジアムは7時30分から8時30分まで練習の使用を認める。また現地招集の種目については、役員の指示で8時30分以降の練習も認める。
- (3) 練習については、役員（練習会場係）の指示に従い、競技を行っていないエリアで行う事。
- (4) 逆走は禁止する。
- (5) 投擲の練習については、指導者が付き添いのもと行う事。
- (6) トラックにミニハードル等、私物の道具を置くことは禁止する。
- (7) 練習等でトラックにテープ等を貼った場合、練習後には必ず回収すること。

3 招集について

- (1) 招集は、本競技場第3コーナー裏に設けた招集所で行う。
なお、男子走幅跳A組、男子走高跳ならびに投擲競技は競技場所現地で招集を行う。
- (2) 招集時間は、開始・完了ともに、競技順序に記載された時刻で行う。
- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものと出場を認めない。
- (4) 招集の方法については、以下の通りとする。
 - ① 招集開始時刻に招集場所にて競技者本人が競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用シューズのスパイクピン・靴底の厚さ・ウェアや所持物の商標の点検を受ける。
 - ② トラック競技出場者は腰ナンバーカードを受け取る。
受け取った腰ナンバーカードは、競技終了後に返却すること
 - ③ 携帯電話、ミュージックプレイヤー、および外部との通信機能のある腕時計等、競技規則TR6.3.2に関わる電子機器を持ち込んではいけない。
 - ④ 代理での点呼は認めない。2種目同時に出場する競技者は、招集開始時刻前までに競技者係へ申告すること。トラック競技が先に行われる場合は、トラック競技終了後フィールド競技場所へ移動すること。フィールド競技が先の行われる場合は、フィールド審判員に申告し、指示に従い、トラック競技へ出場すること。
 - ⑤ 各種目を棄権する場合は、招集開始時刻前に競技者係へ申告すること。
- (5) TR4.4(参加の拒否)は適用しない。欠場については、エントリーした各種目について申告すること。

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、2024年度鹿児島陸協登録時に配布され、申込時に入力したものをを使用すること。県外登録選手については、申込時に入力した番号が記載されたものを使用する。
- (2) 跳躍種目に出場する選手は、胸部・背部どちらか一方だけ取り付ければよい。
- (3) アスリートビブスを取り付ける安全ピンについては、各自で用意すること。

5 競技場の入退場について

- (1) 招集所から競技場への入場は、競技者係の指示に従い、決められたルートで移動すること。
- (2) 競技終了後は、役員の指示に従い、場外へ退場する。（本部席前は通行禁止）
- (3) 競技者以外（付き添い等）は、招集所以降、競技場所へは立ち入る事ができない。

6 番組編成について

トラック競技については、プログラム記載の組・レーン順、フィールド競技の試技順については、プログラム記載の番号順とする。

7 競技について

(1) トラック競技について

- ① トラック競技の計時は、原則写真判定装置で行う。
- ② レーンで行う競技は、欠場者のレーンを空ける。また安全対策の為、フィニッシュ後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を通過する。
- ③ 不正スタートを行った競技者は失格とする。
- ④ スタート時、動作等により他の競技者の不正スタートを生じさせた場合や、遅延行為が見られる場合などはイエローカード提示され警告となることがある。警告が2回累積されると、退場となり以降の競技に出場ができなくなる。
- ⑤ 小学生の100mにおいてもスタートのコールはイングリッシュコールとし、スタートの方法はクラウチングスタートとする。
- ⑥ 以下の種目は、制限時間を設け、残り1週の時点で時間超過した場合は競技を中止させる場合がある。5000m(男子17分 女子20分)、3000m(男子11分 女子12分)。
- ⑦ 男女とも3000mと5000mは補助競技場で実施する。

(2) フィールド競技について

- ① フィールド競技の測定については、一部光波測定器を使用することがある。
 - ② 走幅跳およびやり投、ジャベリックスローの競技者は、助走路の外側に主催者が準備したマーカーを2個まで設置することができる。また砲丸投は、同じくマーカーを1個だけ使用できる。走高跳に出場する競技者は、各自でマーカー（粘着テープ、2カ所以内）を助走路内に使用することができる。使用したマーカーは競技終了後、役員の指示があった後、各自で片付けること。
 - ③ 走幅跳はA・Bの2ピットで競技を行う。全競技者に3回の試技が許可される。女子走幅跳に関しては、上位8人による後半試技を3回行う。男子走幅跳に関しては、A組・B組に分けて実施し、上位8人に関しては、B組の試技が終了次第、後半試技を3回行う。
 - ④ 走幅跳においては、競技前に行う公式練習を設けず、競技開始時間までを各自練習時間とする。練習開始と終了のタイミングは役員の指示に従うこと。
(競技の進行状況によっては、変更する場合がある)
 - ⑤ 走幅跳の前半試技3回の制限時間は30秒とする。上位8人の後半試技については60秒とする。
 - ⑥ 投擲競技の試技については全競技者に3回の試技が許可される。その後、記録上位8人による後半試技を3回行う。
 - ⑦ 投擲競技の公式練習については、競技進行状況に応じて行う。投擲審判員の指示に従うこと。
 - ⑧ 以下の競技においては、カットラインを設け、ライン未満の記録については計測しない。
男子：走幅跳(5m00) 砲丸投(8m00) やり投(35m00) ジャベリックスロー(30m00)
女子：走幅跳(4m00) 砲丸投(7m00) やり投(30m00) ジャベリックスロー(25m00)
 - ⑨ 「コーチングエリア」は設置しない。選手への助言等は競技進行に支障のない場所から行う事。競技者が直接手に取って映像等を確認することは認めるが、機器等の持ち込みや持ち出しは認めず、その場で確認すること。また機器は手渡しのみ認め、投げ渡し等は認めない。
- (3) 競技者は、携帯電話、ミュージックプレイヤー、および外部との通信機能のある腕時計等、競技規則TR6.3.2に関わる電子機器を所持・使用してはならない。また、競技場所を勝手に離れることはできない。
- (4) 競技規則または、競技注意事項に違反する行為がある場合、また競技者としてあるまじき行為がある場合は、警告（イエローカード）または除外（レッドカード）を通告されることがある。

8 走高跳・棒高跳について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方、および練習の高さについては、優勝者が決定するまでは以下の通りとする。ただし、天候等の状況により、審判長の判断で変更することがある。
- (2) 試技は同じ高さにつき3回許可される。パスをした場合は、その高さでの無効試技の回数は次の高さに引き継がれる。

種目	性別	練習	バーの上げ方
走高跳	男子	1m50/1m70/1m90	1m55から1m90まで5cmずつ 1m90以降3cmずつ
	女子	1m30/1m45/1m60	1m35から1m60まで5cmずつ 1m60以降3cmずつ

- (3) 公式練習について
審判長の指示に従うこと。

9 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具については、原則主催者が用意したものを使用しなければならない。なお、投擲の持ち込みについては、検査を受けて合格したものは許可する。
- (2) ハードルの規格については以下の通りとする。

種別	種目	高さ	1台目まで	ハードル間	最終ハードル以降	ハードル台数
中学 男子	100mH	0.838m	13m	8.5m	10.5m	10
	110mYH	0.914m	13.72m	9.14m	14.02m	10
男子	110mJH	0.991m	13.72m	9.14m	14.02m	10
	300mH	0.914m	45m	35m	10m	8
中学 女子	80mH	0.762m	12m	7.5m	15.5m	8
	100mMH	0.762m	13m	8.0m	15m	10
女子	100mYH	0.762m	13m	8.5m	10.5m	10
	300mH	0.762m	45m	35m	10m	8

- (3) 投擲物の重さに関しては、要項およびプログラム記載通りとする。

10 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは、9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投・ジャベリックスローは12mm以内とする。
- (2) 競技用靴の厚さについては、以下に示すものとし、WAシューズ規定を適用する。(TR5)
中学生の投擲種目についても、WAシューズ規定を適用する。小学生については、WAシューズ規定を適用しない。

11 抗議について

結果発表アナウンス後、結果に対する抗議は、競技規則(TR8.2)に定められた時間内(30分以内)に競技者自身、もしくはチームを公式に代表する指導者等から総務(総務員)を通じて、審判長に口頭になされなくてはならない。本競技会はジュリーを設置していないため、上訴はできない。

12 その他

- (1) 競技場の開門は7:30とする。係の指示に従い入場すること。
- (2) 大会プログラムは競技場入り口付近受付にて販売する。
- (3) 記録の証明を希望する場合は、受付に申し出ること。1部200円で発行する。
- (4) 競技会の結果については、競技場入り口付近に掲示する。なお鹿児島陸協HPでも公開する。
- (5) 競技場内に持ち込む衣類・バック等については広告規定を適用する。
- (6) 更衣室の利用については、更衣のみとし、控え場所としての使用は認めない。また貴重品等の管理については、各自で責任をもって行う事。
- (7) 事故発生については、応急処置を当協会医師・医務員が行うが、他の一切の責任は負わない。各自スポーツ安全保険に加入しておくこと。
- (8) ホームストレートへのテント設置はできない。バックストレート中央より上段側は許可する。
- (9) メインスタンドの座席に物等を置いたりしての場所取り行為を禁止する。
- (10) 各自が出したゴミは必ず持ち帰ること。
- (11) 個人情報の取り扱いについて
 - ① 大会プログラムに掲載する。
 - ② 記録掲示板、ホームページに掲載する。
 - ③ 競技場内アナウンスに使用する。
 - ④ 競技結果等、報道機関、関係各所に提供する。
 - ⑤ 優勝記録や大会記録等、次年度以降もプログラム等に掲載する。
 - ⑥ 各報道機関・メディアに写真や映像が公開されることがある。